

ポンポロリン

一、あらすじ

魔法学校のテストが町で行われる。アクアグループの子達は課題を確実に果たそうとするが、バツコスグループの子達は手を抜こうとする。そこをどろぼう達につけ込まれ、町が火事になってしまう。それをアクアグループの子達が、雨の精達に手伝つてもらつて町を救う。

二、登場人物

ポンポロリン	1	2	3	4
ザーザー	1	2	3	4
ピッチャン	1	2	3	4
レイン				
魔法学校の生徒	アクアグループ		9	
魔法学校の生徒	バツコスグループ		10	
魔法学校教授	1	2	3	4
街の子たち	1	2	3	4
街の人（花屋・肉屋・パン屋・仕立屋・果物屋）	5			
風	1	2	3	
炎	1	2	3	
樹の精	1	2	3	
どろぼうの親分	どろぼう	1	（トン）	2
			（チン）	3
			（カン）	

三、曲

- ①信頼の歌
- ②子どもは遊ぶもの
- ③雨つぶ達の唄
- ④炎の踊り
- ⑤雨の精と炎の戦いの踊り

四、舞台：古いヨーロッパの街の広場

第一場 中幕の前

魔法学校の生徒アクアグループ10人とバツコスグループ10人が、舞台上手の教授たち5人の前に静かにすわっている

教授
①

教授
③

教授
5

ア
ク
ア

教授全受教②

教授③

教諭
②

バツコス②

教授
⑤

それではみなさんよろしいですか。魔法のテストのことをお話ししますぞ。このテストが受からないと冬休みがありませんからな、おっほほほほほ。」
「グループ毎によーく考えるのですぞ。

場所はこの街の中

街は今フェスティバルです。

そこで課題です。それは「フェスティバルを盛り上げるいたずら」です。エーツ、「フェスティバルを盛り上げるいたずら」ですかア。

（全員にこにこしながら）はいつ、その通り
毎二の間に魔法学校の生徒のテストを行ひ

毎年この間に魔法学校の生徒のテストを行って、ステップを盛り上げています。街の人は、みなさんが現れるのを楽しみにしておりますぞ。

いけません。それは魔物達のやることです。

私たち魔法の国の住人は、人間と持ちつ持たれつ。互いによい関係なのです。ふーん、そうかなあ、困らせた方がおもしろいんだけどなあ。

そうです、「信頼」です。人間と魔人は昔から信頼しあつて生活しているんです。

教授達が歌う。

♪信頼の歌♪ (ユーモラスに)

あー、おっほん

そもそも魔人も人間も
足りないところがいっぱいです
わがまま勝手な生き物だ
それでも互いが努力して
支え合って生きてきた
信頼しあつて生きてきた
信頼信頼信頼、信頼が一大事

（みんなに向かって）分かつたね。

教授
ア全
バ全
①

バツコス③

バツコス④

バツコス⑤

教授③

バツコス全

教授
④

バ
レ
イ
ン

バツコス①

アケア全

教授⑤

万全八全

教授達とバツコスグループは上手に入っていく。

アクア②
アクア③
アクア④
アクア⑤

みんな、相談しよう
さつき考えていたのがいいよねえ。
雨の精達に頼むっていうやつかい。
うん、いいと思うなあ。

下手からポンポロリン、ザーザー、ピツチャン達がそれぞれ違う動きで舞うように出でくる。
アクア達の周りを一周する。

ポンポロリン①

レイン

アクア①

ポンポロリン②

アクア⑥

ポンポロリン③

ポンポロリン④

アクア⑦

雨の精全

ピツチャン①

ピツチャン②

アクア⑧
アクア⑨

アクア④
アクア③

ピツチャン③

アクア③
アクア⑤

やあレイン、テストなんだってね。
やあ雨の精達、そなんだよ。
ちょうどよかつた。頼みたいことがあるんだ。
どんなこと？
僕たちのアイデアに協力して欲しいんだ。
いいよう、楽しいことは何でも協力するよ。
いつもレインにはやさしくしてもらっているからね。
うんとねえ、街でおどつてほしいんだ。
えーっ、おどるー？
雨つぶのおどりねえ、喜ぶかなあ。
うん、街の人は雨といいやがるでしょ。
だからさあ、楽しい踊りを見せるんだよ。
そうしたら、街の人達は考え方が変わるよ。
そりやあいい。雨降りを楽しんでもらえるんだ。
ぼくたちのことを喜んでもらえるんだ。
それならフェスティバルで雨が降つても盛り上がるでしょ

バ バ バ バ
ツ ツ ツ ツ
コ コ コ コ
ス ス ス ス
(7) (6) (5) (4)

ザー ザー ①
ザー ザー ②
ザー ザー ③
アクア ②
ザー ザー ④
アクア ④
雨の精全
ア全 雨の精全

でもぼくたちはザーザー雨だからなあ。
ウーン、そななだあ。

踊りになるかなあ。

うんつ、でもちよつとだけならおもしろがつてくれるよ。
そなかなあ、でもレイン達のためだ。がんばるよ。

ありがとう、じやあ頼むね。
よおし、がんばろう。

ではまた明日。バーカ。

アクアグループは下手に、ポンポロリン、ザーザー、ピッチャン達は上手に入っていく。

暗転

第二場 街の広場

街の建物の背景

上手からバツコスグループが出てくる。

さあ、いよいよテストだよ。何をやろうか。
エーッ、もう考えるのー?
街に出てきたばかりじやないか。
まず街の中をたんけんしようよ。

バ バ バ バ バ バ バ バ バ
ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツ
コ コ ⑤ コ コ コ コ コ
ス ス ⑥ ス ス ス ス ス
全 ④ ⑦ ① ⑩ ④ ⑨ ⑧
 ⑧
 ⑨

そうだよーっ、あっちにサーカスも来ているみたいだよ。
でもまだ何も考へてないんだよ。
アクアグループはもう何か考へているみたいだよ。
だいじょうぶ、だいじょうぶ。俺たちは天才だよ。
そうだ、おれたちは天才だつた。
遊ぼうよー
うーん、そんなに言うならーーー、遊ぼうかあ。
遊ぼう。

バツコス達が歌い踊る

「子供は遊ぶもの」♪
子供は遊ぶようになっている
いつでも どこでも だれとでも
遊びは子どもの仕事なんだ
自然に体が動き出す
ゴーゴーゴー レツツゴーゴー

バツコスグループは走つて下手に入つていく。
上手からどろぼう達が上手から出てくる。

どろぼうトン
どろぼうチン

親分、魔人と言つても、やつぱり子どもは子どもですか。
ほんと、ほんと、何も考えていませんぜ。